

管理栄養士・栄養士

第 1 現状と課題

1 管理栄養士・栄養士の配置状況

- 保健医療福祉関係施設等の全施設へ管理栄養士・栄養士の配置が望まれますが、令和 4 年度（2022 年度）末の配置率は、92.6%です。
- 保健医療福祉関係施設等以外の特定多数の者に給食を提供する施設への配置率は約 53.2%であり、配置を進める必要があります。
- 市町村への管理栄養士・栄養士の配置率は 93.5%です。規模の小さい町村に未配置が多い状況です。また、高齢福祉部所への配置が進んでいない状況です。

【表 1】管理栄養士・栄養士の配置率

（単位%）

	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年	令和元年	令和 4 年
保健医療福祉関係の給食を提供する施設*1	96.0	93.2	96.7	96.1	94.6	92.6
上記以外の給食を提供する施設*2	54.3	43.7	42.9	44.7	47.6	53.2
市町村*3（うち非常勤市町村数）	85.0（18）	85.6（17）	89.6（13）	90.9（12）	93.5（8）	93.5（6）

（衛生行政報告例・行政栄養士等配置状況）

- *1 保健医療福祉関係の給食を提供する施設とは、病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設
- *2 上記以外の給食を提供する施設とは、学校、保育所等児童福祉施設、事業所、一般給食センター等
- *3 常勤と同時の嘱託、非常勤（会計年度任用職員を含む）を含む

【表 2】市町村各部所への管理栄養士・栄養未配置数

	健康づくり関係	特定健診・保健指導関係	母子保健関係	高齢福祉関係
未配置市町村数（率）	5（6.5）	8（10.4）	7（9.1）	21（27.3）

（R4 健康増進課調べ）

2 管理栄養士・栄養士の養成と育成

- 県内には栄養士養成校 2 校、管理栄養士養成校 2 校があります。
- 対象となる者に、最新の知見に基づいた適切な栄養管理、栄養ケア、指導等が行える専門性が求められており、より一層の資質の向上が必要です。